

令和元年 11 月 14 日

介護保険運営協議会委員各位

中津川市市民福祉部介護保険課長

第 8 期事業計画策定に係るニーズ調査件数の決め方について（回答）

初秋の候、皆さまには益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、令和元年 11 月 7 日の第 2 回介護保険運営協議会にご出席いただき誠にありがとうございました。

さて、その協議会において、委員様からご質問のありました、資料 1「ニーズ調査件数の決め方」につきまして、下記のとおり回答いたします。

（調査件数/全体数と回答比率）

対象者	調査内容	調査件数	調査件数の根拠	全体数	全体数の根拠
②一般高齢者	・厚労省が調査票を例示している ・地域間で比較しやすい	2,000	目安とする標本の大きさ×日常生活圏域÷回収率=標本の大きさ 400人×4÷75%=2,133 ÷ 2,000人	20,818	H31.4.1 現在
③サービス未利用者	・中津川市独自の調査	300	7期の回収比率は 64.7% 8期は 64%と見込む	1,764	要介護(要支援)認定者の約 40%
④若年者(40~64歳)		1,000	7期の回収比率は 48.8% 8期は 50%と見込む	24,808	H31.4.1 現在
⑤施設サービス利用者		200	7期の回収比率は 86.0% 8期は 80%と見込む	819	市内の特養、老健の床数合計
⑥ケアマネジャー		146	全員	146	

※②一般高齢者の必要サンプル数の計算式は上記のとおりです。

※③~⑤ 計算式 $n = (\text{信頼度})^2 \times \text{回答比率} (1 - \text{回答比率}) \div (\text{許容誤差})^2$

許容誤差=5%、信頼度=95%、回答比率(7期と同等の回収率を見込んだ)

=③64%、④50%、⑤80%

信頼度=95%のとき、1.96(その値に対応するZ値)

③をあてはめると

$(1.96)^2 \times 0.64 (1 - 0.64) \div (0.05)^2 = 354.04 \div 355 \dots n$

修正式に当てはめると必要サンプル数は

$$n' = \frac{nN}{N+n-1} = \frac{355 \times 1764}{1764+355-1} = 295.66 \div 295 \text{ となる}$$

詳細は次回の運協で説明させていただきますので、よろしく願い致します。

なお、⑥ケアマネジャーの調査人員は 100 人になっていましたが、全員の方にアンケートを行う関係上、146 人とさせていただきます。